

事務事業名	西野99号線交差点改良事業		所属部局	建設部	単位番号	2013- 999054				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	道路整備課	課長名	新津 元博				
			所属担当	河川道路担当	担当者名	中込隆行				
基本政策	基本計画	Ⅲ うるおいと利便性のある都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	Ⅺ	道路網の整備	事業区分	01	一般	08	02	02	020	27
施策	ⅱ	生活関連道路の整備		<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業					
				<input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 補助金交付事業					
			<input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他の事業						
			<input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金							
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度)		法令根拠	道路法・道路構造令						
	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( H25 ~ H27 年度)									
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 ( 26年度 決算見込 )						
	1. 事業の内容: 国道52号線の交通安全対策を目的とした交差点改良に伴い接続する西野99号線交差点部分の整備を国の事業に合わせおこなう必要がある。			項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
	2. 事業費の内訳: 設計委託、用地買収・補償、改良工事			委託料	3,868					
				公有財産購入費	0					
			補償、補填及び賠償金	0						
						計	3,868			

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容	詳細設計・用地測量、用地買収	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
	27年度活動予定	道路改良・舗装工事L=310m			ア事業用地取得割合	%
					イ工事延長の割合	%
					ウ用地取得に係る協議回数	回
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	交差点利用者。		⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア朝夕1hの利用者数	台/h
					イ改良計画の延長	m
					ウ改良計画の買収面積	m <sup>2</sup>
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	交差点を安全に利用できるようにする。		⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア車の運転において安心・安全に利用できると回答した市民の割合	%
					イ事業進捗率	%
					ウ	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	市内道路網整備を図る。		⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア目的地までの移動時間が短縮されたと回答した市民の割合	%
					イ	

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
		国庫支出金	千円		269	2,127	13,750				
		県支出金	千円								
		地方債	千円		200	1,600	10,600				
		その他	千円								
		一般財源	千円		21	141	650				
		事業費計(A)	千円	0	490	3,868	25,000	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人		2	2	2				
		延べ業務時間	時間		400	1,000	1,000				
		人件費計(B)	千円	0	1,820	4,551	4,551	0	0	0	0
		(A)+(B)	千円	0	2,310	8,419	29,551	0	0	0	0
活動指標		ア	%		0.0	100.0	100.0				
		イ	%		0.0	0.0	100.0				
		ウ	回		2.0	30.0	20.0				
対象指標		ア	台/h		365.0	365.0	365.0				
		イ	m		200.0	310.0	310.0				
		ウ	m <sup>2</sup>		0.0	100.0	100.0				
成果指標		ア	%		38.4	39.7	41.0				
		イ	%		1.0	60.0	100.0				
		ウ									
上位成果指標		ア	%		58.2	52.9	58.0				
		イ									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成24年度、国道52号線飯野新町交差点の改良を国交省において安全対策事業として事業化することになり、接続する西野99号線の改良が必要となった。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	飯野新町交差点の危険性の認識の高まりと横断歩道橋の老朽化が年々強くなっている。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	横断歩道の老朽化、大型車の左折禁止等について改善の意見が寄せられている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	事務事業の事業内容を精査することにより、適正な執行に努めている。また、事業分担についても国交省と協議している。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	設計業務、用地測量業務委託単価の精査。

事務事業名	西野99号線交差点改良事業	所属部	建設部	所属課	道路整備課
-------	---------------	-----	-----	-----	-------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 交通安全対策の一環として行う事業であり、結びついている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 インフラ整備の1つでもあり受益者が市民全体となるため、公共事業として行うのが妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 道路利用者及び地域住民のうるおいと利便性の向上を目的に進めているので妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をすることで、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 詳細設計を行う時点でより経済的な工法選択により成果目標を達成するよう指示・監理を行い詳細設計を作成しているため難しい。また、補助事業であり、道路構造令等に合致するため。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 各路線の整備を進めているので、統合はできない。 <input type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 国交省で進めている飯野新町交差点改良事業に悪影響を及ぼす。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 国交省の事業と併せて効果が得られるため。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 すでに設計段階において最適化しているので余地はない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 積算システムの運用などにより業務時間のコスト削減を行っている。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 交差点周辺には、公共施設が点在するため、受益者は市民となるため公平公正である。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	国交省の交差点改良事業に伴う事業として、綿密に協議を重ね、方向性が固まったので、引き続き国交省並びに地元と協議を進める中でH27年度事業完了に向け、進捗を図ること。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑨</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑤	コスト削減優先度評価結果	⑨																	
成果優先度評価結果	⑤																					
コスト削減優先度評価結果	⑨																					